



SSKP つくしんぼの会報紙

つくつく通信

No.95

ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> メール fs2941@nifty.com

つくしんぼはハンディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです

編集～ NPO 法人はらっば
フリースペース
つくしんぼ
町田市小川 1511 番地
TEL/FAX 042-796-8468

何処へ行け!?! とうのさ 思案橋

寿限無みたいだ……

つくしんぼは、運営母体である NPO 法人はらっばを経由して、定められた年額の補助金を東京都 (2/3) と町田市 (1/3) から受けて運営しています。

制度的には『東京都障害者施策推進区市町村包括補助事業内地域「デイグループ事業」(福祉保健局障害者施策推進部自立生活支援課担当) の生活支援施設……ということになります。

事業名も担当部署名も長過ぎて、落語の「じゅげむ」の名前みたいです。(笑)

ちなみに、制度の内容としては「小規模な在宅の心身障害者(児)グループに対し創作活動、機能訓練、集団活動、訓練等を行い、地域社会が一体となって心身障害者(児)の自立の促進を図るために市町村が行う事業に対して補助する」もの……このことです。

補助金打ち切り?

さて、1998 年以來、つくしんぼが都の施設として受け続けてきた「デイグループ事業の補助金」が、来年度より打ち切られる……という状況に置かれています。つくしんぼだけではありません。都内にあるつくしんぼと同様の障がい児放課後施設すべてが……です。

平成 23 年度より新たに施行される法律『放課後等デイサービス』事業へ移行させるのが東京都の方

針らしいのです。

つくしんぼは事業移行などする気もなかったのですが、昨年度はやらと移行を勧めてくる市の福祉課の移行支援係サンに対し、通信の紙面上でツッコミ入れて、「勘弁してくださいよ……」なんて言われたりもしていました。(笑)

しかし、そうも言ってられませんが、相手が市だけではあれば直接交渉も可能ですが、今回は国と都が相手。つくしんぼのような弱小施設がゴネても騒いでも、国や都にしてみればへ蚊以下。痛くもかゆくもないに決まっています。

なので、移行を視野に入れ、方向転換を考えはじめました。私が職員を降りたのも、移行後はどうしても事務職員が必要となり、となれば事務能力のない私などに支払う給料がないからです。

相談窓口はどこ……?

六月末になって、厚労省からようやく新制度に関する資料が公表されたものの、放課後等デイサービス事業に関しての内容は全 55 ページ中、たったの 1 ページ。具体的なことが全然わかりません。

それで先日、市の福祉課の窓口で相談に行ったのですが……ビックリしました。移行に関する相談窓口がないのです。

「放課後等デイサービス事業は、児童デイサービス事業とともに、自立支援法内から児童福祉法内に移行するため、担当窓口が障がい福祉課から児童福祉課に移る可能性があり、どちらが担当するかは未定……」とのこと。課長さんは「たぶん障がい福祉課が継続でやることになると思う」とは言っていました。あくまで現時点では

未定なわけで……。

タイムリミットは来年三月。あと半年。にもかかわらず詳細は不明。市や都に問い合わせたところ「詳細は一月にならないとわからない」と言われるばかり。

「一月になって詳細がわかってからでは遅いのでは?」と質問しても、「あとは国の意向次第だから」と。もう、本当になんとかしてくださいよ。タバコ値上げ希望の新大臣サン。(笑)

東京都からの新提案

七月には全国放課後連が厚労省障害児支援係と、八月には放課後連東京が都の担当部署と、それぞれ懇談を行いました。

厚労省の方は、放課後活動の実態を知ろうとせよに新制度をつくらうとしている感じが否めません。一方、東京都の方は、厚労省に対して都独自の意見を提出してくれていたりして、想像以上に動いてくれている感じがします。

さらに東京都は、「一定条件のもとで事業移行を一年間延期でき、補助金も継続する」という方向性を打ち出してくれました。

「一定の条件とは?」と質問すると、「移行計画書を作成提出した場合」であり、その内容は検討中とのこと。

つくしんぼは、年度内の移行の検討に入っています。まずは「デイサービス II 型」に移行し、さらに来年四月のタイミングで「放課後等デイサービス」に移行すると。うう、ギャプルの予感が……。

サポーターご支援

ありがとうございます

平井様、山本(里)様、原田様、佐治様、山本(哲)様、山下様、岡本様、里子様、梓様、木島様、井上(記)様、坂本建設工業様、外谷場様、依田様、深川様、氏原様、長谷川様、佐々木(暹)様、金森様、森様、佐々木(悦)様、吉本様、鈴木様、高橋様、横溝様、佐藤様、難波様、土屋様、谷沢様、峯岸様、天野様、阿部様、齊藤様、大工原様、中村様、福井(牧)様、田辺様、高崎様、こばと保育園様、岡村様、境様、須崎様、桜井様、木村(巴)様、細野様、林様、玉川電気様、内野様、西山様、青木様、根岸様、阪本様、岩崎(敦)様、三和住建様、久保様、三箇山様、浅川様、角谷様、大西様、中西様、池田様、山上様、古閑様、奥山様、稲垣様、野村様、友井様、小田様、井上(由)様、矢田様、木村(好)様、風間様、岩崎(良)様、黒川様、志岐様、坂井様、杉崎様、山本(須)様、竹田様、よこはま発達クリニック内山様

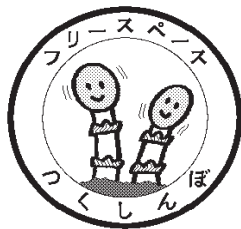
(4月～9月16日 現在78名)
※ 合計人数の計算上、前号との重複記載分があります。

税制上の優遇措置の受けられる「認定NPO法人」認可に向け、三千万×100人以上の寄付者を目標としています。

ボランティアご寄付

ありがとうございます

三箇山様、山下様、山本様、宮崎様、藤田様、桜井様、高井様、池田様、山口様、田辺様、越村様、大庭様、久保寺様、日母おぎやー献金基金様、国際ソロプチミスト町田様 (6月～8月)



SSKP

つくつく通信

「つくしんぼ」はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
つくしんぼの活動は月曜～金曜日
放課後～午後 5 時 30 分まで
ボランティアさんを募集中です
興味ある方はご連絡ください
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



つくしんぼ 交遊録

預け預かり・・・

✍️ 小山 京子

はじめまして、今年の 4 月から働いております。職員の小山京子 (オヤマキョウコ) です。

家庭の事情があり、パートをしながら就職活動をしておりました。そんな時に、山下さんから職員としてつくしんぼで働くお話を頂きました。正直言って、「何で私を？」とビックリしました。〈ご縁〉があったのかなぁ～？

今まで障がい児者の活動はしています。しかし自分が福祉の仕事とすることは考えてもいま

せんでした。

私も山下さんと同様で〈福祉〉を志しておりませんでした。山下さんが障がい児の父親の立場として放課後活動の場をつくり、15 年間続けられ、そして施設長を降りる話を聞きました。その思いに亡き主人の事が重なり、少しでも遺志を引き継ぎ生きていけたらと思いました。

私には、一人息子がおります。大介と言います。町田第二小学校の特別支援学級、若竹学級に通う 5 年生 (10 歳) のダウン症児です。

学校が終わった後は学童保育に行っております。私がつくしんぼの子供たちと遊んで過ごす間に、我が息子は学童で遊んで過ごしている。この様な状況を経験するとは思ってはいませんでした。

お陰様で町田の学童保育では障がい児童は 6 年生まで入会できますので、働かなくてはならない私にとっては有り難い限りです。そして息子の大介にとっても一人っ子ですから沢山のお友達と遊べて成長していると感じております。最近は預かる責任を感じながら学童へ預けており、親として感謝の思いを再確認しています。

私も、まだこの先働き続けなければなりません。

ん。だけど大介が中学生になったら放課後はどうしよう？ それまでにはお留守番をしながら自宅で過ごせるようになって欲しい、いや出来るようにさせなくては……。一人で鍵の開閉をして遊びに行ったり出来るかなぁ……。自立させなくては……。ちょっと寂しいけど子離れ・親離れもしないと……。

いろいろ考えると日々不安、焦りを深く感じて生活しております。

中学校からの放課後の行き場所が無い現状の中、以前から山下さんには助言して頂いており、新たな行き場所を作らなくてはと思いながら、一人ではどうにも無力で……。

来年度の新制度への移行を前に、次の世代の一人として…年をとってますが…どれだけ役に立てるか分かりません。

それでも、つくしんぼの子どもたちの〈笑顔〉を大切に働きたい。そして母親としての幸せを実感しながら大介と生きていきたい。『ありがとう』を忘れずに……。

こんな私ですが、皆様のご理解とご指導を頂いて働かせて頂きます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ありがとうございました。① 公益財団法人日母おぎゃー献金基金 さま

つくしんぼの送迎車は、最初は個人所有のグレーのステップワゴン。3 年目からは新車のパールのステップワゴン。これは途中でぼくうみ映画の撮影用にとオールイエローに全塗装してしまいましたが……最後は事故車状態となっていて。。(^^)

今回、約 12 年ぶりにつくしんぼに新車がやってきました。なんとまあ、またしてもステップワゴンです。色は陽だまりアイボリー。ちょっと肌色がかかった白系なので、色的にはちょっと地味です。

病院の産婦人科の窓口に置いてあるこんな赤いマークの寄付箱、(→) 見たことありますよね？ そこからの寄付金で購入させて頂きました。

日母おぎゃー献金基金様、本当にありがとうございました。m(__)m



ありがとうございました。② 国際ソロプチミスト町田 さま

国際ソロプチミストさんは、地域社会と世界中で女性と女兒の生活を向上させるための奉仕活動をしている団体です。

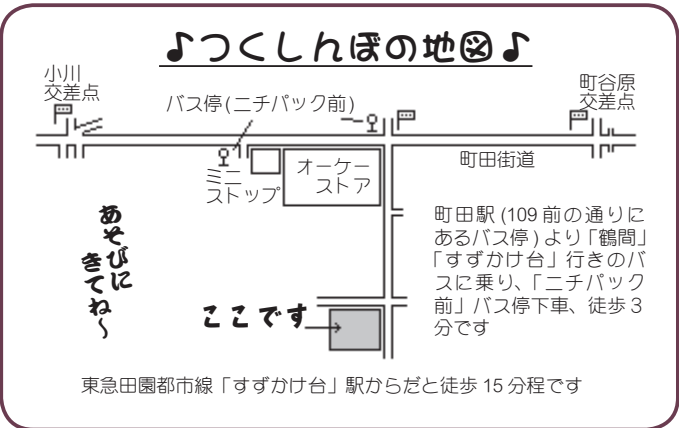
その町田のメンバーのみなさんより、デジタルテレビを寄付して頂きました。シャープのアクオスの 26 型。ブルーレイ付きです。

「もっと大きな画面の方がいいんじゃない？」と言って頂いたんですけど、つくしんぼは意外と手狭で、大きなテレビを新たに置くスペースがありません。なので、これまで置いてあったアナログテレビのスペースに収まってくれた方が都合よかったのです。おかげさまでサイズがピッタリです。(^^)v

国際ソロプチミスト町田様、本当にありがとうございました。m(__)m



発行 東京都世田谷区砧 6-26-1
障害者団体定期刊行物協会 定価 50 円 21 円



「はらっぱ&つくしんぼ」サポーターご支援のお願い
フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。
1996 年に自主グループとして開所、1998 年に東京都通所デイグループ事業認可、2007 年からは運営主体を NPO 法人はらっぱに移行し、運営を続けています。
NPO 法と税制改正法を受け、はらっぱも「認定 NPO 法人」取得を考えています。取得後は寄付者に寄付金控除が適用されます。
よろしかったら「サポーター」になってください。一口 3000 円でお願ひさせていただきます。3000 円×100 人が認定 NPO としてのクリア条件となっています。
サポーターの皆様には、この会報紙「つくつく通信」を送付させていただきます。今年こそは頑張つて年四回は発行させていただきますので……。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ